

郡市医師会長に聞く

下松医師会長 井上 保 先生



下松医師会、下松市の紹介

下松医師会は昭和14年11月、下松市が市政を施行した年に発足しました。当初は14名の会員数でしたが、約80年を経て会員数91名を数えるまでに発展しました。周南記念病院を中核として、42の診療所が病診連携をとっています。今年度も新規開業、入会される先生がいます。ほどよい人数でまとまりのよい医師会です。

ご存じかもしれませんが、下松市は毎年「住みよい街ランキング」の上位にランクインしており、人口が現在も維持されている数少ない自治体の一つです。日立製作所や東洋鋼板株式会社といった企業があり、若くて働き盛りの方が多く、少子化のご時世ですが、お子様が3人以上おられる方も多くおられます。

会長就任時の心境、経緯など

2024年5月に会長に就任いたしました。井上保です。山口大学出身で、小児科医です。平成15年に開業、平成22年から下松医師会の理事に就任しました。

小児科医なので、乳幼児保健、予防接種、学校保健、小児救急の仕事を一貫して担当してきました。令和4年から副会長を拝命、医療DXに関しても担当するようになりました。

山下弘巳 前会長は、新型コロナ感染症が猛威を振るう中で、難しい医師会運営を行ってこられ

ました。温和な性格で、医師会の会員の力を結集して感染対策にあたられました。初期のコロナワクチン接種の際は、医師会員全員が協力してくださいました。

コロナ禍で医療DXの必要性が高まり、それに対応、相談できる医師会を作りたいと考え、会長職を引き受けることにしました。

現在の心境、これからの目標

会長を拝命して、3つの課題を掲げました。

1つめは新型コロナウイルスへの感染対策です。高齢者が感染すれば、通常のインフルエンザより死亡率が高いといわれています。高齢者へのワクチン接種の継続、医療機関での早期診断、隔離などで、幸い感染は縮小傾向です。ただし、感染拡大時には行政と協力して速やかにコロナ禍の体制を再構築する必要があります。

2つめは、医療DXへの対応です。政府は医療分野をDXの最重要分野の1つと位置付けています。2030年までの全診療所への電子カルテ導入、オンライン資格確認、マイナ保険証、電子処方箋、電子カルテ情報共有サービスなど、市民の方は診療所で診察を受けるときに、DXを介した対応になっていきます。DXの導入には壁があるのはわかりますが、未来への投資と思って、がんばっていただければと考えています。できるだけ、医師会で診療所が導入に際しサポートできるようにし

たいと思っています。

3つめは、人口減少がもたらす医療の質や量の低下を食い止めなければなりません。県全体の人口が減るということは、医療を担っている人口も減少していきます。スタッフの減少で、診療できる人数が減る、開院している日にちが減る、病院の診療科目が減っていく、それどころか、診療所自体が閉院するといったことが起こりえます。スタッフの確保のサポート、医院の継承などのサポートを考えていきます。

1年を経過した時点で、2つ目の目標に対して、医療DXと医療経営を絡めて講演会を行ってきました。3つ目の課題は医師会として大変対応が難しいのですが、医院継承の講演会を開きました。新しくした医師会ホームページを利用して、看護師の求人などサポートしていく予定です。

今年度も、この3つの課題に取り組んでいきたいと考えています。

会長自身について

私は1967年（昭和42年）生まれで、小学校からは山口県で過ごしています。山口大学附属山口中学校、山口高校、山口大学医学部と学んできました。卒業後の平成4年に山口大学小児科に入局しました。関連病院で一般診療を学んだあと、29歳で東京の清瀬小児病院に小児腎臓の勉強に行きました。1年で大学へ帰り、5年間病棟で小児腎臓だけでなく、いろいろな病気のお子さんに向き合ってきました。平成15年に下松市で皮膚科の妻と一緒に開業しました。

開業後は早くから電子カルテや予約システムなどを取り入れて診療を行っています。新しいものが好きなので、医療DX担当は向いていると思います。ホームページ、LINE公式アカウントは自作です。趣味はゴルフです。毎週のようにゴルフ場に出発しています。山口県医師会ゴルフ大会でもお世話になっているので、ご存じの方もいるかもしれません。周南カントリークラブがホームコースです。気晴らしがされたい方は、声をおかけください。お供いたします。

日本医師会公式 YouTube と公式 LINE のご案内

日本医師会では公式 YouTube チャンネルや LINE 公式アカウントを通じて、さまざまな情報を提供しています。それらの情報をご活用頂くため、ぜひ、YouTube のチャンネル登録並びに LINE への友だち追加を、下記の二次元コードからお願いいたします。

●日本医師会公式 YouTube チャンネル



●日本医師会 LINE 公式アカウント



問い合わせ先：日本医師会広報課 e-mail：kouhou@po.med.or.jp